



— 記者発表資料 —

とうかい かんじょう
C3 東海環状自動車道

■ 関^{せき}広^{ひろ}見^み I C ~ 山^{やま}県^{がた} I C

■ 岐^ぎ阜^ふ三^み輪^わスマート I C

2020年3月20日(金・祝)
に開通します

・開通式典などの詳細は、決まりしだいお知らせします。

<開通により期待されるストック効果※>

- 利便性の向上 : 山県ICの開通により、山県市から関広見ICまでの**所要時間が約10分短縮**
東海環状道とバスターミナルの連携により市の玄関口として**利便性向上を期待**
- 企業立地の促進 : 山県市では、2015年5月の開通見通し公表後、**工場用地に7社の企業が進出**
山県市内総生産(第2次産業)が約1.3倍に増加、**さらなる企業立地に期待**
- 観光の活性化 : 岐阜ファミリーパークでは、公園整備と東海環状道開通の相乗効果による**観光客の増加に期待**
大河ドラマ「麒麟がくる」の舞台となる岐阜県では、**東海環状道を活用した周遊観光の活性化に期待**

※ ストック効果 : 整備された社会資本が機能し継続的に発揮される、生産性向上などの効果のこと。

記者発表クラブ

中部地方整備局記者クラブ、愛知県政記者クラブ、岐阜県政記者クラブ、
中部経済産業記者会

問 い 合 わ せ 先

国土交通省 中部地方整備局 岐阜国道事務所 TEL: 058-271-9811 (代表)
副所長 おおしま つねお 計画課長 はやし まさひろ
大島 常生 林 真弘

中日本高速道路株式会社 広報課 TEL: 052-222-3628 (直通)

ストック効果① 利便性の向上

- 山県ICの開通により、山県市から関広見ICまでの所要時間が**約10分短縮**
- 東海環状自動車道の開通により、山県市が整備を進めるバスターミナルを支援し、市の玄関口として**利便性の向上に期待**

山県ICとバスターミナルの連携による交通アクセス向上

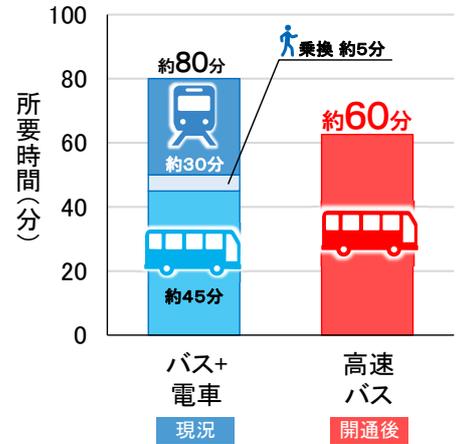
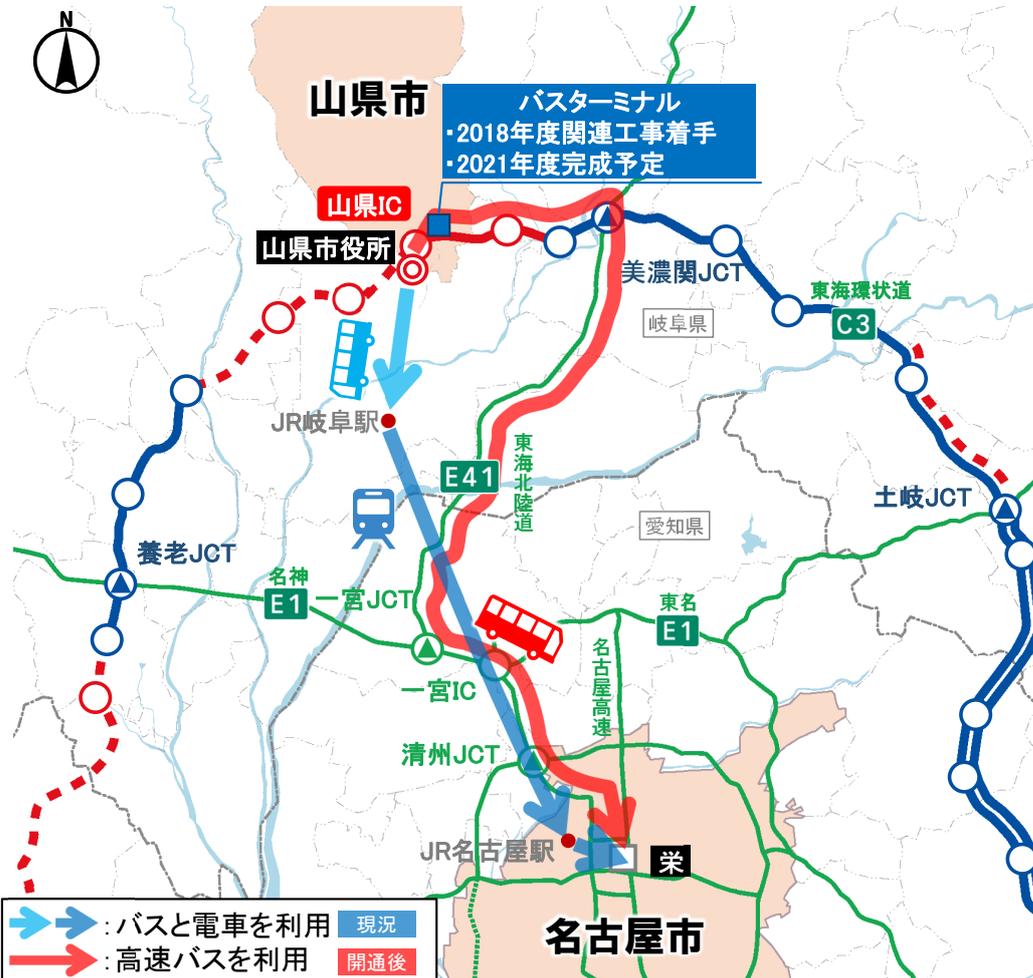
■山県市から関広見ICまでの所要時間の変化



■バスターミナル整備予定地



■山県市から名古屋市（栄）までの公共交通の運行例



■山県市からの声

- 山県市と名古屋市間の移動は、現在、公共交通機関を利用し約80分必要ですが、**東海環状道とバスターミナルが連携し高速バスが運行すれば、1時間圏内になり、利便性が向上します。**
- 1時間圏内であれば通勤者が増加し、定住促進対策としての効果が期待できます。
- 鉄道が無い山県市にとって、利便性の向上は最重要課題です。**

(注意) 高速バスについては、令和2年2月1日時点で運行決定しているものではありません



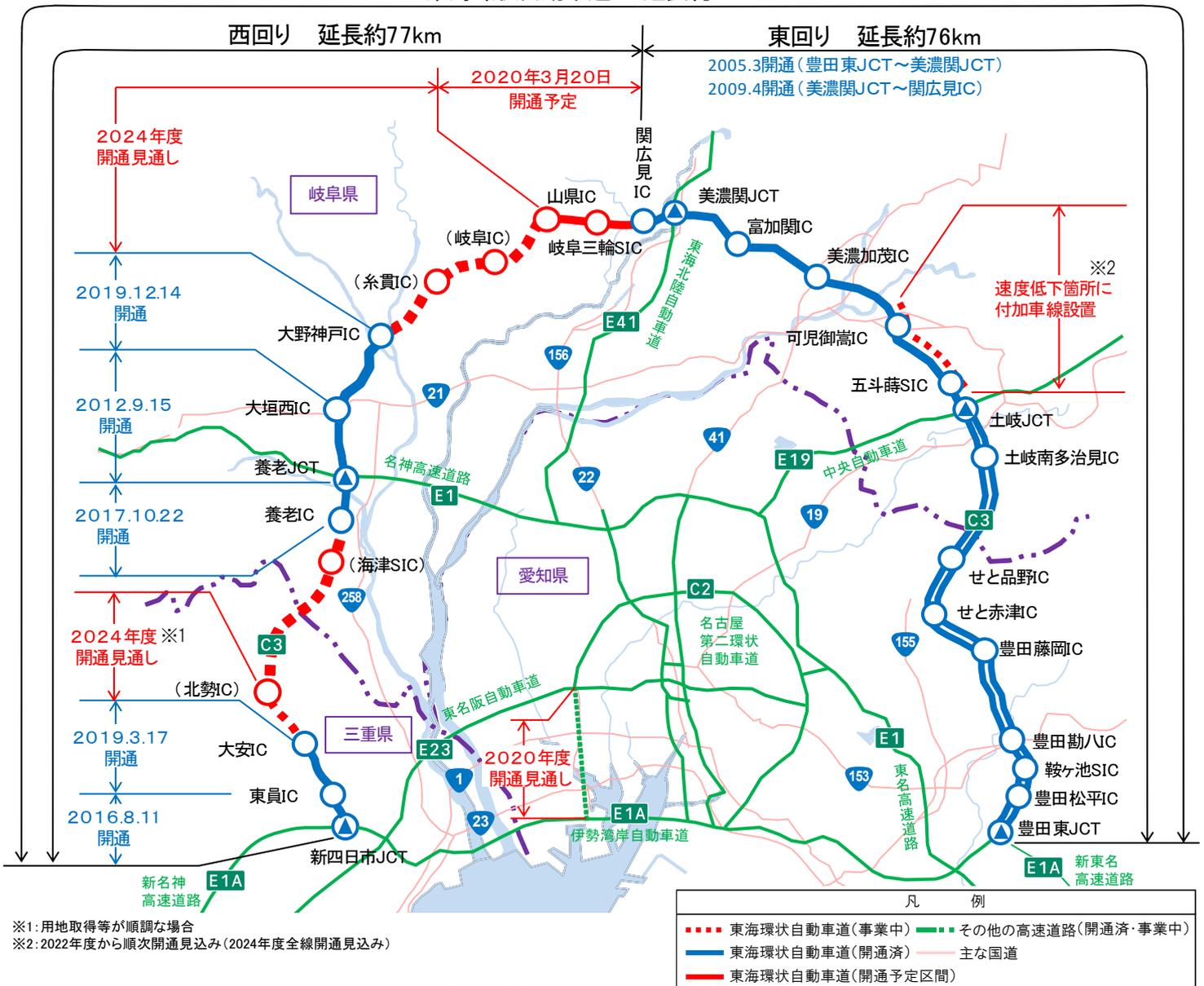
※公共交通機関の所要時間は、乗換時間を含む
出典: 所要時間/平成27年度 全国道路・街路交通情勢調査
※東海環状道の未開通区間は設計速度70km/hで算出(国土交通省試算)

出典: 国土交通省調査結果(2019年11月)

今後も広がるネットワーク

○さらなる高速道路ネットワークの拡充により、中京圏の発展を支援します。

東海環状自動車道 延長約153km



東海環状自動車道(西回り)工事進捗状況

<p>(北勢IC)~大安IC 2024年度開通見通し</p>	<p>山県IC~大野神戸IC 2024年度開通見通し</p>
<p>至(北勢IC)</p> <p>至 大安IC</p> <p>2019年12月撮影</p>	<p>至 山県IC</p> <p>至(岐阜IC)</p> <p>2020年1月撮影</p>
<p>至 養老IC</p> <p>(北勢IC)</p> <p>至 大安IC</p> <p>2019年12月撮影</p>	<p>至 山県IC</p> <p>(岐阜IC)</p> <p>至(糸貫IC)</p> <p>2020年1月撮影</p>

今回開通区間の料金

■山県ICと主要IC間の料金表

○通常料金

(距離:km、料金:円)

道路名	IC名(距離)	軽自動車等	普通車	中型車	大型車	特大車
東名高速道路	東京(373.1km)	7,160	8,910	10,630	14,530	24,120
	静岡(232.2km)	4,750	5,900	7,030	9,610	15,820
名神高速道路	一宮(47.6km)	1,300	1,580	1,850	2,490	4,040
	大垣(58.3km)	1,530	1,870	2,200	2,970	4,840
	関ヶ原(72.8km)	1,840	2,260	2,670	3,610	5,920
東海北陸道	岐阜各務原(29.7km)	910	1,100	1,270	1,690	2,710
	郡上八幡(40.6km)	1,150	1,390	1,630	2,180	3,520
	飛驒清見(98.1km)	2,390	2,950	3,490	4,740	7,800
中央道	多治見(51.4km)	1,600	1,970	2,340	3,150	5,120
	飯田(116.4km)	3,290	4,080	4,880	6,640	10,940

※上記は主要IC間の通常料金のみを表示しています。

上記以外のIC間の料金については、NEXCO中日本公式WEBサイトで改めてお知らせいたします。

■ETC割引の適用について

割引名称	主な内容
深夜割引	0時～4時までの間に対象となる道路を走行。30%割引。
平日朝夕割引 (後日還元型)	ETCマイレージサービスに事前登録したETCクレジットカード又はETCパーソナルカードを利用し、6時～9時までの間、または、17時～20時までの間に入口または出口料金所を通過。朝、夕それぞれ最初の1回に限り適用。最大100km走行分まで最大50%を後日還元。 ※月毎の割引対象となる利用回数に応じ還元率を設定。無料走行分として後日還元。
休日割引	土日祝日の0～24時の間に対象となる道路を走行。軽自動車等または普通車のみ対象。地方部区間のみ30%割引。

※割引後の料金は四捨五入により10円単位の端数処理をおこないますので、割引率が異なる場合があります。

※各割引の適用条件やその他の割引などの詳細については、NEXCO中日本公式WEBサイトをご確認ください。

※上記は開通時点での料金、ETC割引を表示しています。2020年2月5日に公表されている中京圏の新たな高速道路料金の具体方針(案)などに基づき、新たな料金体系を名古屋第二環状自動車道の全線開通に合わせて導入する予定です。